

研修会報告

令和 8 年 1 月 23 日

文責：古川 和樹

研修会テーマ「Visual EF 討論会！！～スーパーソノグラファーに問う～」

開催日時 令和 8 年 1 月 18 日（日） 14：00 ～ 16：40

会場 東北公済病院 II 号館 8 階大会議室（現地開催）

司会 東北公済病院 中嶋 真一 技師

石巻赤十字病院 伊藤 光汰 技師

生涯教育点数 専門 20 点

参加者 会員参加者 47 名 非会員 0 名

合計 47 名

14：05～14：20 講演 1 「Visual EF はどんな時に役に立つ？」

みやぎ県南中核病院 検査部 藤田 雅史 技師

14：20～16：15 「Visual EF 討論会」

<症例提示>

東北公済病院 臨床検査科 中嶋 真一 技師

東北医科薬科大学病院 検査部 稲田 菜乃 技師

仙台医療センター 臨床検査科 古川 和樹 技師

仙台市立病院 臨床検査科 工藤 仁美 技師

<アドバイザー解説>

日本心エコー図学会認定専門技師

みやぎ県南中核病院 検査部 藤田 雅史 技師

仙台市立病院 臨床検査科 若月 悠 技師

症例は 1 人 2～3 症例提示。他、匿名施設からの症例を 6 例提示。

計 15 症例の visual EF を会場参加者に Google フォームを用いて選択形式で投票していた
だき、症例ごとにアドバイザーによる解説を行った。

16：25～16：40 講演 2 「クロージング～改めて visual EF の重要性を考える～」

仙台市立病院 臨床検査科 若月 悠 技師

16：40 終了

内容

近年、visual EF は迅速かつ臨床的に有用な指標として重要性が高まっており、その評価精度の均一化が求められている。本研修会では、県内の多くの施設で心エコー業務に携わる技師が一堂に会し、症例を通して visual EF の目合わせを行うことができ、日常業務では中々得られないような非常に貴重な機会となった。生理部門では精度管理の一環としてこの数年 visual EF に関する設問を出題してきたが、評価のばらつきから正答率がなかなか向上しないという課題を抱えていた。その現状を改善するため、以前より研修会開催の必要性を感じており、今回ようやく実現できたことは大きな成果であった。討論会では visual EF の考え方にとどまらず、計測方法や断面設定、評価時の注意点などについても、日本心エコー学会認定専門技師から具体的かつ実践的なアドバイスを数多く頂き、参加者にとって理解を深める有意義な時間となった。今後は今回の内容を日常業務や精度管理に反映させるとともに、継続的に同様の研修会を開催し、県内全体での評価の標準化と検査精度向上につなげていきたいと考える。